

令和8年度 第1回 稲沢市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 令和8年6月26日（金）
午後2時00分～2時50分
場 所 環境センター2階 大会議室

出席委員 足立 三千夫、藤谷 昌代、内田 英伸、山田 芳樹、坂田 恭子、
長坂 貴美子、横井 定、桑山 桂子、小山 暁
事務局 内藤経済環境部長、佐藤資源対策課長、後藤主幹、木村主幹、
柴田主任、野村主任
オブザーバー 吉川経済環境部次長兼環境施設課長、山田環境保全課長

●開会

課 長 令和8年度第1回廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。
それでは議題に入ります前に、本日委員につきまして、前委員でございました稲沢市まちづくり連絡協議会選出の伊藤浩樹委員が、4月を持ちまして役員の異動があったということで、山田芳樹様を新しい委員として選任させていただきましたので、よろしくお願いいたします。
それでは早速ではございますが、ただ今から審議会の開催にあたりまして、経済環境部長よりあいさつを申し上げます。

部 長 (あいさつ)

課 長 続きまして、足立会長からごあいさつをお願いいたします。

会 長 (あいさつ)

課 長 ここからの議事の進行につきましては、稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第3項の規定により、足立会長にお願いしたいと思います。

●議題1「令和8年度年間計画について」

会 長 議題1「令和8年度年間計画について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料1に基づき説明>

会 長 説明が終わりました。委員の皆さんのご意見はございませんか。

<質疑なし>

●議題2「『稲沢市のごみの概要』令和7年度実績報告について」

会 長 次、議題2「『稲沢市のごみの概要』令和7年度実績報告について」に移ります。事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料2に基づき説明>

会 長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

委 員 9ページのリサイクル率のところが30%を超えている市が4市ほどありますが、これは何か理由があったりしますか。

あと、集団回収量が0となっている市は、子ども会等で回収をしていない市なのでしょうか。

事務局 リサイクル率が30%を超えている市について、特に小牧市では剪定枝をリサイクル処理していることで、リサイクル率が高いものと思われます。

集団回収の量が0の市で集団回収を実施していないのかということについては、後ほど調べまして回答させていただきます。

※ 集団回収を実施していないことを確認し、委員に伝える。

委 員 剪定枝というと、稲沢もせっかく植木の町なので、何かしら資源にできるといいと思います。

委 員 7ページのところで、焼却灰のリサイクルについて、リサイクルにもコストがかかると思います。市としてはリサイクル率を上げるのと、経済面のことも考えなくてはならない中、どういう方向で進めていくかという部分をお尋ねしたいと思います。

環境施設課長 灰の資源化につきまして、先ほど委員も言われたように、リサイクルするためには費用がかかります。

埋立処分の方が安価ですが、国もリサイクル率を上げる方針ということで、市としてはあちらこちらへ灰を搬出してリサイクルするように努力はしております。しかし、燃料代の高騰等、経済面の関係でリサイクルすることが難しいということもあります。

少しでもリサイクル料金の安い施設をできるだけ探し、リサイクル率を上げていきたいと思っております。

●議題3「稲沢市指定ごみ袋の表示変更について」

会 長 次に、議題3「稲沢市指定ごみ袋の表示変更について」に移ります。事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料3に基づき説明>

委 員 今の容器包装プラスチック用の袋の色は何色ですか。

事務局 白色半透明で文字が黒色です。

委 員 数日前に「燃やすしかないごみ」という表示を見ました。「本当にごみ量を減らしてね」という意図がとても伝わるので、良いと思います。

会 長 袋の名称が変わった後も、家庭にある変更前のプラスチック製容器包装用の袋はなくなるまで使うことはできますか。

事務局 はい。

●議題4「その他」

会 長 次に、議題4「その他」ですが、事務局から報告はありますか。

事務局 <資料4「フードドライブ」について資料に基づき説明>

会 長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

委 員 フードドライブのことをもっと周知して、もっとみんなが協力的になるにはどうしたらいいのかなと、自分も含めて見ながら思っていました。

会 長 他にも事務局から報告はありますか。

事務局 <プラスチック一括回収に関わる住民説明会について口頭にて説明>

会 長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

<質疑なし>

会 長 全体を通して、委員の皆さまから何かご意見はございませんか。

委 員 フードドライブの件になりますが、私も少しこども食堂でフードドライブのお手伝いをしています。そこでは、以前はお米がすごく多かったのに、今回少ない等、いろいろな話を聞いています。

ですが、何日から何日まで受け付けているのかは結構知らない方が多いので、チラシをSNSで発信したらよいのではと思いました。

会 長 学校等の人が集まる場所で、子どもが直接持っていかななくても、こういうことをやっているということを家で話してくれると、家庭の方にも伝わっていくと思うので、もし可能であれば、学校に1枚ぐらい、啓発用のチラシを作っていただけるといいと思いました。

議題2「稲沢市のごみの概要」の資源化の内訳で、拠点回収のリサイクル資源が前年度比77.1%ということでしたが、今年度落ちている、または去年が多かった理由があったのでしょうか。

事務局 数値の根拠はありませんが、スーパーなどの民間回収施設がガラスびんの回収をやめたことにより、行政回収でしかガラスびんを排出できなくなりました。ガラスびんは大変重いため、その影響はあったのではと思っておりません。

委 員 フードドライブの件について、4月の広報か3月の広報で周知してもらえるとよいのではないかと思います。

事務局 広報4月号と一緒に組回覧として、フードドライブのチラシを回覧させていただいております。

会 長 リサイクル率が下がっているということで、今年度からプラスチックの一括回収でリサイクル率を上げていきたいところですが、下がった要因は何でしょうか。

プラスチック一括回収で増えるのは当然増えるとは思いますが、根本的に下がったところ、リサイクル資源が回収できていないのはこういったところでしょうか。

事務局 実はリサイクル率はそこまで大きく変わっておりません。変わった部分は先ほど質問のありました灰の資源化量が大きく違い、その分がリサイクル率に大きな影響を与えております。

来年から始まるプラスチックの一括回収ですが、実証実験では、不燃ごみの約20%がプラスチック製品で、この分が一括回収開始後は資源となりますので、リサイクル率も上がると考えております。回収したプラスチックは、油に変わります。この油は様々なプラスチック類に再生しますので、今回の

ごみ袋不足の問題にもいい影響を与えられるのではと思っております。

委 員 分別収集について、令和6年度からペットボトル回収については、行政区に収入が発生すると記憶しています。ですが、回収量を比較すると大きく変わっていません。行政区の収入が増えるということで回収量も増えると思っていましたが、そうではないので理由をお聞きしたいと思います。

事務局 ペットボトルを奨励金の対象にしたのは、今おっしゃった通りの時期ですが、それ以前もペットボトルは分別収集で回収しておりました。
回収量が増えていない原因は、スーパーなどの民間回収施設にペットボトルを出される方が多いことが影響していると思われます。

委 員 漠然とした質問ですが、近隣の自治体と比較して強調というか、売りになるようなものが稲沢市にあるかっていうのはありますよね。
先ほど小牧市は剪定枝をリサイクルしているということですが、そのような強調してできるような、何かビジョンみたいなものはあるのでしょうか。

事務局 稲沢市は植木の町ですが、剪定枝を集めると収容能力が足りておりません。剪定枝のリサイクルができる施設が近くにあれば進んでやっていきたいと思っておりますが、遠方の施設では輸送費用がかさんでいきます。
ですので、処理施設が近くに来てくれないかということは、よくお話しさせていただいております。
先ほど申し上げました、プラスチック一括回収では、他市に先立ちまして、ケミカルリサイクルという油に戻すリサイクルをいたします。
リサイクル率向上のためできることからやっていくという形で考えております。

会 長 その他、委員の皆さまのご意見はございませんか。
特にご意見も無いようですので、以上で本日の会議は終了させていただきます。進行を事務局にお戻しいたします。

課 長 足立会長ありがとうございました。
今回、第1回の審議会ではございましたが、委員任期がこの第1回で終了となります。
第2回の審議会につきましては、先ほどの説明にもありました通り11月下旬頃を予定しておりますので、よろしくお願いしたいと思います。
それでは、本日の審議会につきましては、これで閉会させていただきます。本日は皆さまどうもお疲れ様でした。

●閉会